

ヤマセミ (学名: *Megaceryle lugubris*)

[ブッポウソウ目 カワセミ科]



▲川岸の倒木にとまる巣立ち後間もないと思われる2羽のヤマセミ

ヤマセミは、全長約 38 cmでキジバトほどの大きさの鳥です。地味な色合いです。よくみると白と黒とで背や翼に繊細な模様が描かれています。頭部の羽は長く、これを冠羽と呼びます。カワセミ科の仲間は頭が大きく3頭身ですが、冠羽を逆立てると余計に頭が大きく見えます。体の割に脚は短く、枝にとまっているのに座っているように見えます。太く長くくちばしは、魚類を捕食するのにうってつけです。河岸の止まり木から水面を観察し、魚の影が見えるとさっと飛び出して、頭から水に飛び込んで魚を捕えます。

只見町では、只見川や伊南川にかかる電線の上にとまっている姿がよく見られます。河畔林が発達した只見町の河川は、止まり木が豊富にあり、よい狩場となっています。一年を通して生息している留鳥で、決まった場所で採食・休息する習性があり、同じ時間に同じ場所で見ることがあります。盛夏の頃には、巣立った若鳥を見るようになります。若鳥は、脇腹が薄く茶色になっており、親鳥に連れられているのか複数羽でいます。巣は、土壁などに穴を掘ってつくりますが、採食場所である河川から数キロの距離につくこともあります。只見町では、「かーげら」と呼ばれてきました。

企画展示

「只見の昆虫たちー只見自然環境基礎調査の報告」

期 間：7月23日(土)～10月10日(月)

場 所：ただみ・プナと川のミュージアム 2階ギャラリー

詳しくは、
只見町プナセンター
までお問い合わせ
ください

第98回全国高校野球選手権福島大会 只見高校が強豪・白河実業に勝利!!

夏の高校野球、7月3日に行われた只見高校の初戦の相手は、昨夏ベスト8の強豪・白河実業でした。初回に1点を先制されましたが、4回に同点に追いつき、5回に逆転。6回にも加点し、そのまま相手に追加点を許さず投打がかみ合った只見高校が4-1で見事勝利しました。試合終了後、只見高校の校歌が球場に流れると三塁側応援席が一斉に湧きました。

2回戦の日大東北(第5シード)戦は、残念ながら負けてしまいましたが、途中の粘りは見事でした。只見町を熱くしてくれた只見高校球児。来年も期待しています!



▲(写真: 1回戦の白河実業戦) 試合終了後、白河実業から次戦のエールを受ける只見高校球児